

# 郵便局遊び

——誘導保育案の一例——

毎日の新聞に、ラヂオに、赫々たる戦果の擧げられますのきまますこのごろ、日本人である誇り感謝、感激は日に募つてまゐります。子ぎも達の間では兵隊ごつこがますます盛になりました。斯うした時に誘導保育の主題に慰問袋をいたしましたので本當に自然に兵隊さん有りがたうこいふ心からの感謝の氣持を深くするのでした。毎日々々兵隊ごつこの兵隊さんに、幼稚園の銃後から盛に慰問袋が送られました。遊戯室のテレスは野戦病院です。ゴザの寢床の上で、紙の赤十字章をつけた看護婦さんに結び目を解いてもらつてゐる重傷兵もありました。花びらのおかゆや煉瓦の粉のお菜の手當がきいて輕快になつた兵隊さんからは慰問袋のお禮が盛に送られて來ます。銃後はますます慰問袋を出す、こんなこまがきつかけで郵便あそびが始つたのです。

始め、お禮狀が看護婦さんや軍醫さんに運ばれましたが

附屬幼稚園 清水光子

そのうち一人が僕が郵便やさんになるこ申し出て、出す人ご受取人の間を直接往復してゐたのですがさつそくポストを作りました。斯うして次々に發展して行つた郵便あそびはほんの試案ですし、新しい試みでもないのでお恥しい限りですが皆様の御批評をお願いします次第でございます。

郵便局 あり合せのお店を用ひ簡単な窓口をつくりました。机を二脚程ご衝立で圍つても結構だご思ひます。看板には木箱の蓋なごに干印をかいて郵便、電信なごごかきませう。局の壁には飛行機や軍艦の繪のあるポスターをはります。これにはアイコクチョコキンごかサイケンごかかきませうか、これは子ぎもの仕事です。

ポスト 蜜柑箱の古いのを用ひてなごめのひさしをつけ、投入口をつけて干印をつけます。赤い色はポスターカラーか何かで塗りませう。

切手 有り合せの紙の裏を用ひて縦横にミシンで切りめを入れて四錢、三錢、二錢を實物を見てかゝせませう。

葉書 畫用紙を適宜の大きさに切り印紙をかきませう。

小包 その時々送るものによつて形は大小色々になりませんが包装は大人が手傳つてしつかりに、そして宛名は墨で〇〇ヤセンビヨウインキムラヨシチサマの様にきちんとかかせませう。

秤 臺秤が作り度くて度々考へて見ますがうまく出来ません。それで平凡な桿秤にしました。けれど小さい子にもは桿秤の方が筋肉の練習になつてよいといふ事を或本でみてひそかに安心しました。これは秤の桿が激しく上下しないやうに、上から吊します。出来るなら目盛をつけ、それによつて小包料をきめて表にしてかき出しておくのもよいかと思ひます。

スタンプ お芋が自由に使へるのでしたら子きもに彫れまして好都合なのですが、ない時には古インク瓶のせんを用ひました。キルクでない方に大人が小刀で實物を参考にして彫ります。

電報 頼信紙を實物を参考にしてつくつておきます。

かばん 書物のサツクの有り合せのものを黒く塗り、赤で干印をつけました。

これで大體用意は出来たやうです。もつともこれは用意

が出来てから遊び始めるのでなくて遊び乍らつき／＼に必要なものを作つてゆくのは言ふまでもありません。郵便局の人をきめて(代り代りになる)ポストに入つた郵便を集め、スタンプを捺して配ります。おまゝごこの家同志でも文通が始り遠足に誘つたり、訪問を約束したり、中々面白く發展してゆきます。

先日組の子きものお父さんで戦地へ行つていらつしやる方へみんな慰問袋を作つて送る時、子きも達を近所の郵便局へ連れてゆきました。人の立て混まない時間を選んだので局の人も面白くいろ／＼子きも達に話したり見せたりして下さつてようございました。

斯うして遊び乍ら葉書繪葉書は何錢切手か、封書は何錢切手をはるか、切手の賣買といふ事、又宛名はきちんとかくこき、小包のつくりかた出し方なごを體驗します。勿論まだよく字をかけない子きも達ですから字をちやんとかくこきは求めませんけれども出来るだけきちんとかきまりよくかゝせ度いと思ひます。子きもはお手紙を出すさいふこきが大好きです。子きもに出来ないこきは大人が手傳つて一そう楽しい遊びにし度いと思ひます。尙ほこの遊びは年長組がよろしいかと思ひます。